

この1年の要友紀子の政治活動

(※個人としての政治活動の報告のため、SWASH、APNSW、NSWP運営委員としての活動は除外して書いています)



【2023年1月～2月】

●困難女性支援法(女性支援新法)に関する、立憲議員と厚労省のミーティングに参加させていただきました。また、困難を抱える様々な属性の女性たちの要望が、基本方針に反映されるよう、厚労省に働きかけました(その後、2024年1月厚労省補助事業として開催された女性支援新法全国フォーラムでは、多様な女性について言及されるようになりました)。

【3月】

●若者の民主主義ユースフェスティバルに参院選2022注目候補としてお招き頂き参加しました。

【4月】

●様々な差別に反対し連帯するインターセクショナル리티の運動、「東京リベレーションマーチ」のオーガナイザーの一人として、準備・運営に取り組みました。

【6月】

●日本労働者協同組合連合会を訪問し、幹部の方々とデリヘル協同組合、企業組合の作り方・可能性について意見交換させて頂きました。

【8月】

●AV新法の影響調査について、関係者や協力者とミーティングを始めました。

【11月】

●海老名市議会議員選挙で、たち登志子さんの応援に行きました。

●党員集めをしました。要友紀子を通じて30名様にご入党頂きました。ありがとうございました。

●東京で党員交流会をしました。

●立川デリヘル殺人事件(2021年)と、吉原ソープ殺人事件(2023年)の裁判員裁判の傍聴のため、立川地裁と東京地裁に通いました。

【12月】

●立憲ののぼりを持って街頭活動をしました。セックスワーカーも働く街では、話題の悪質ホスト問題・売掛問題などについて話しました。

●大阪で党員交流会をしました。

【2024年1月～2月】

●「AV産業の適正化を考える会」(発起人・二村ヒトシ、MARICA)の賛同人になりました。AV新法見直しに向けたロビー活動を始めました。



この1年の執筆、講演、メディア掲載

●コメント掲載「海を越えて“出稼ぎ”する性風俗業の女性たち(前編・後編)」(週刊朝日、2023年1月6日13日合併号、1月20日号)

●講義「セックスワークの現状と課題」(学習院大学、2023年1月20日)

●講演「セックスワーカーの権利は労働者の権利〜わたしの仕事はわたしが決める〜」(サポートユニオンwith YOU主催、2023年2月12日、茨木)

●ゲスト出演「今、風俗業界がヤバい?!『困難女性支援法』で何が変わるの…?」(YouTubeチャンネル「真夜中の待機室(まよたい)ー風俗嬢向けサブchー」、2023年2月14日収録)

●インタビュー記事「『セックスワーカーへの差別や無理解は続く』支援団体代表・要友紀子さんが激白『困難女性支援法』24年施行も懸念」(夕刊フジ、2023年2月19日)

●講演「セックスワーカーの労働条件の現状と課題」(プレカリアートユニオン主催、2023年3月17日、四谷)

●講演「性産業の社会史 売春防止法制定時の赤線従業婦たちの闘いと国会論戦」(ニコニコ超会議、2023年4月29日、幕張メッセ)

●パネル登壇「国際売春婦デー(International Whores' Day) 2023ウェビナーイベント」(スカーレットアライアンス主催、2023年6月2日)

●執筆「あおちゃんべ主催『ガールズパレード』への批判や揶揄が的外れである理由 男性参加者が多かった背景とは」(Sirabee ニュース、2023年6月21日)

●ミニ発表「日本のセックスワークの現状と取り組み」((特活)アフリカ日本協議会主催「東アジアの国際保健にかかわる市民社会戦略会議」アウトリーチ・セッション、2023年9月11日、新宿)

●コメント掲載「『日本人のセックスワーカーが警察に』出稼ぎ“売春”ビジネスで女性だけ裁かれる理不尽」(AERA dot、2023年11月2日)

●講演「社会政策は労働政策ではない(平等権、自由権、社会権の保障でもない)」(一般社団法人ふえみ・ゼミ&カフェ主催、2023年11月17日、赤羽)

●コメンテーター「『Community-led』とは何か」(日本エイズ学会シンポジウム、2023年12月3日、リーガロイヤルホテル京都)

●コメンテーター「セックスワーク、移民、エンパワーメント」(主催:同志社大学MICCS/KAKEN23H00059「移住性労働と人身取引における経験とネットワーク」代表:青山薫(神戸大学)、2024年1月30日、同志社大学)

●コメント掲載「ルポ出稼ぎ日本人風俗嬢」(朝日新書、2024年2月13日発売)の取材に協力

1年を振り返って・・・

5月、9月、10月は、APNSWとNSWPの活動のため、バンコクでの会議が多く、また、国内ではいつものようにSWASHの活動で忙しくしていました。

また選挙に挑むなら発信をがんばらなければと思いつつも、要友紀子Webサイトのブログも1回しか更新できませんでした。ブログ更新驚異の年1回(!)という貴重な投稿に何を書いたかという、8月6日の国民民主党・玉木雄一郎氏の発言をきっかけに、広島平和記念式典の歴史と反戦運動の関係について書きました(誰も読んでないけど)。ためになる内容と思うので、ぜひみて下さい。

11月の党員募集のあと、年が明けて能登半島地震があり、被災された県にお住まいの方からも党費をお振り込み頂いていたことを心苦しく思い、いつも相談している党職員さんに、党費返還(免除)できないか相談しました。その結果、「それだったら、要友紀子自

身が被災地にボランティアに行ったり、何か別の方法で支援をさせて頂くなどのほうがいいのではないかと(党費2千円をお返すよりも、それよりもっと助かると思って頂けることをしたほうがよいのでは)」ということになり、そのようにさせて頂くことにしました。地震だけでなく、党員になられてから状況が変わる方もいらっしゃると思います。何かお困りのことがございましたら何でもいつでもご連絡下さい。

今年こそは政治活動の幅と量を増やしていきたいと思っております!いろいろアイデアなどありましたら教えて頂けるとありがたいです。

3月は学術誌「理論と動態」掲載予定のセックスワークについての2万字原稿に取り組みます(9月刊行予定)。こちら楽しみにして下さい!